



<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大図研京都ワンディセミナー

終了しました

「メディアドクター研究会 in 京都

テーマ：iPS 細胞と臨床試験」

医療・健康情報について、私たちが新聞やテレビ、雑誌、インターネットなどを通して目にしない日はありません。患者・家族の意思決定に少なからず影響を与える健康報道。その内容は正しく報じられ、適切に伝えられているでしょうか。一方で情報源となる研究者・医療者は、わかりやすく、かつ正確に研究成果を発信しているでしょうか。さらには健康産業や研究成果のビジネス化により、利益優先といった問題が起りやすい状況にある中で、適切な情報発信のあり方はどのようなのでしょうか。

実際の報道について評価しながら、理解を深めることができるセミナーです。

日 時 : 2019 年 10 月 27 日 (日) 13:00-16:00 (12:30 開場)
 会 場 : 京都府立図書館 2 階ナレッジベース (京都市左京区岡崎成勝寺町)
http://www.library.pref.kyoto.jp/?page_id=1829
 主 催 : 大学図書館問題研究会京都地域グループ
 共 催 : メディアドクター研究会

参加者数：28 名

セミナー当日は、図書館員だけでなく、研究機関、報道関係者等の参加が多く、全体の質疑応答では活発な意見交換が行われました。

[目 次]

大図研京都ワンディセミナー 終了しました	…	1
グループ委員 挨拶	…	2
会費ご納入のお願い	…	6

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com (大学図書館問題研究会京都支部)

URL：http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm

グループ委員 挨拶

2019/2020 年度グループ委員を務めます 13 名よりご挨拶させていただきます。

今年度もより一層京都地域グループ盛り上げ、会員の皆さまのお役に立つような情報提供を行っていきたいと思います。これからも大学図書館問題研究会京都地域グループをどうぞよろしくお願いいたします。

● 研究企画 / 全国委員 (安東 正玄)

昨年度に引き続き研究企画と全国委員を担当します。

図書館を離れてまる 3 年が経過し、冗談ではなく図書館に関する旬なキーワードがわからなくなってきました。そのせいか、昨年は、企画が思ったように実施できなかったことが、機関紙の原稿や新人獲得の機会などにも影響し、非常にまずいと思っています。なので、若手にも研究企画に加わってもらって、新しい風を吹かせてもらおうと考えています。

話は変わりますが、昨年末から、韓国と台湾のいくつかの大学を訪問し、「大学における職員の位置づけ」の調査をしています。そこで分かったのは、韓国・台湾ともに日本の「配属先がわからない人事」ではなく、アメリカ式のスペシャリストとしての雇用（図書館だけでなく他の部署も）であるようです。日本の国立大学図書館はそれでも専門職としての雇用ではありますが、私立大学図書館（特に西日本）では、大学職員がいたとしても一般の事務職員が一定期間図書館員として働くが、その後は他の部署に異動です。このような状態で「グローバルな競争環境で～と言われても。。。と心に隙間風が吹いて今にも風邪をひきそうな感覚を覚えている今日この頃です。「元気の素」を日々一緒に探しませんか？

あんどろ せいげん (立命館大学)

● メーリングリスト / Twitter・メールマガジン / 組織・財務 (内田 栞)

今年度はメーリングリスト、Twitter、組織・財務を担当させていただきます。

1 年間の育児休業を終え、先日職場復帰いたしました。育休中は子どものことで手一杯で、なかなか図書館の動向について勉強することもできませんでしたが、会報や会員の皆様からの話題提供を読んでいたため、完全に浦島太郎状態にはならず済んだかなと有り難く思っています。

皆様も日々仕事や家庭でお忙しいことかと思いますが、忙しいからこそ大図研に加入していることで得られる情報や人脈が役立っていると感じていただけるよう、微力ながら運営に携わっていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

☆メーリングリスト「yurikamome」もし届いていないという方はお手数ですがお知らせください。

☆Twitter でも情報発信をしております。@daitokenkyoto
<<https://twitter.com/daitokenkyoto>> ぜひフォローしてください！



うちだ しおり (京都大学附属図書館)

● グループ報編集 / 「大学の図書館」編集 (坂本 拓)

2006 年度から京都地域グループの運営委員をさせていただいていますが、気が付けば、今のメンバーの中で一番の古株になってしまいました。今、どこの大学も人員・予算が厳しく、余裕がなくなっている中、大図研が、現場レベルのグッド・プラクティスを共有するために大きな役割を果たしていることは、非常に意味のあることだと思います。今年度も微力ながら私も頑張りたいと思いますので、1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さかもと たく (京都大学附属図書館)

● 副グループ代表 / グループ報編集 / 「大学の図書館」編集 (寺升 夕希)

京都地域グループ委員を務めて早数年が経ちました。今年度は副グループ長とグループ報編集、『大学の図書館』編集を担当します。特に、京都地域グループの会報である京都地域グループ報には、セミナーの案内や参加報告だけでなく、会員同士が意見交換できる場を提供したいと考えています。会員の皆さまからの投稿もお待ちしています！

長くグループ委員を務めることができているのも、他のグループ委員の皆さんの支えや助言のおかげです。また所属や職種を超えた情報共有ができることも貴重な財産だと思っています。今期もよろしくお願いいたします。

てらます ゆうき (滋賀医科大学附属図書館)

● 副グループ代表 / グループ報印刷・発送 (長坂 和茂)

今年度も地域グループ委員として活動します。よろしくお願いいたします。

私事ですが、先日東京国立博物館で開催されていた三国志展を見てきました。三国時代やその前後の時代の出土資料から三国志をとらえ直すという内容で、例の曹操墓や、朱然や曹休の墓からの出土品、長沙呉簡といった出土資料が豊富に展示されておりました。今後、出土資料から得られた情報を、既存の文献資料と照合することによって、これからの研究が進められていくであろうことが示唆される、良い展示でした。今は、九州国立博物館で同じ展示をしているので、興味のある方はぜひ見て欲しいと思います。なお九博では東京で展示されていたもののほかに、トルファンで出土した世界最古の三国志の一部も展示されるようで、九州にも行くべきかと考えているところです。

さて、三国志展では入口すぐのところには、明代につくられた関羽像があったのですが、その関羽が死んだのが 219 年。つまり、今年 2019 年は関羽討伐 1800 年記念の年となります。だからどうというわけでもないのですが。

ながさか かずしげ (京都大学工学研究科桂建築系図書室)

● グループ代表 / メールマガジン (野間口 真裕)

昨年度より引き続き、グループ代表を務めさせていただきます。

元号が平成から令和となり、いよいよ 2020 年ですね。あちこちから Society 5.0、AI、データサイエンスと聞こえてきます。様々なことを軽量化、合理化して、新しい仕事、次世代への引き渡しなど諸課題への対応ができるとよいですね。

皆様はどのようなことに困っていますか？どのような交流を行いたいですか？

新たな会場、新たなテーマ、続けていくもの、様々ご意見お待ちしております。当グループでは引き続き、会員相互の交流を深めていくとともに、新たな仲間を増やしていきたいと願っています。

本年度もよろしくお願いいたします。

のまぐち まさひろ (京都教育大学附属図書館)

● 研究企画 / Web サイト (原 健治)

図書館を離れて2年半が経過し、図書館についての現状など全く理解できないような現状にあります。いまは文学部の研究室事務を担当していますが、教員と日頃接点があるというメリットはあるものの、予想より研究支援というよりは、種種雑多な事務仕事をこなすという私の苦手な業務(大学職員としてはあるまじき問題ですが....)で日々苦しんでおります。

とはいうものの大学として必要なインフラは、図書館業務に代表される学術情報の取り扱いだと思しますので、その感覚は失わないようにと大図研の活動を通じて得たいと思っております。

はら けんじ (同志社大学)

● 研究企画 (藤谷 篤)

7年ぶりの復帰となりました。2011年度に当時の京都支部委員として入会し、半年余りが経とうとしていた頃、九州の地へ転勤となり、2012年度に一旦支部委員を離れる決断をしました。九州での勤務は3年程でしたが、大図研の繋がりもあり、その間に別府温泉湯めぐり企画(メインはAPU見学)をはじめ、九州の大図研メンバーとも多く知り合う機会を得ました。そのご縁もあったのか、2018年度の全国大会(九州・西南学院大学)で登壇する機会をいただいたことをきっかけに、また委員として活動していく気持ちが大きく膨らんだことは事実です。

さて、前置きが長くなりましたが、離れていて改めて感じたことは、「必要な情報は自分から取りにいかねばならない」ということです。当たり前の話ではありますが、何かをアウトプットするためには、事前にインプットする必要があります。そのインプットする情報の質と量が明らかに薄まっていたことに対して危機感を抱いていたことが復帰の最後の一押しであったと思います。インプットした情報・知識をもとに、皆様にお役立ち感のあるアウトプット(企画)を提供できるよう努めて参ります。

ふじたに あつし (株式会社クレオテック・立命館大学図書館委託職員)

● 広報・デザイン / 「大学の図書館」編集 (山形 知実)

引き続き、広報・デザインと「大学の図書館」編集を担当いたします。

各種イベントの際には、見てわくわくする、わかりやすいポスター等でご案内していきたいと思っております。

また、「大学の図書館」では、皆様に役立つトピックをとりあげてまいります。これまでのご感想、ご要望はもちろん、自機関では当たり前に行っている業務でも、他機関から見ると画期的な取り組みも多いもの。事例や経験談もぜひお気軽にお寄せください。

京都地域グループの活発な活動の一助となれば幸いです。

やまがた ともみ (北海道大学附属図書館)

● メールマガジン (山上 朋宏)

今年度も引き続きグループ委員を務めさせていただきます。昨年度と同様、メールマガジンを担当いたします。

メールマガジンでは、「ML ゆりかもめ」を通じて各種案内や毎月初めの図書館関係のイベント開催情報などを配信しています。会員の皆様に迅速な情報提供ができるように努めてまいります。またご意見・ご要望等があれば、お寄せ頂けると幸いです。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

やまがみ ともひろ (京都大学医学図書館)

● 研究企画 / Web サイト (山下 ユミ)

京都地域グループの Web を担当します。

公共図書館に異動して1年が経ちました。以前にいた医科大学の図書館とあまりに環境が違うので、当初は、これまでにやってきたことはあまり役に立たないかと思っていました。けれども今いる図書館では、調査研究を旨とする図書館を目指していますし、医学分野の資料も提供していますので、活かせる部分もあるということに気づき始めました。調査研究に関する資料を提供するためには、これまで大図研を通じて細々と調査研究をやってきたことも役に立つと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

やました ゆみ (京都府立図書館)

● グループ報印刷・発送 / 広報・デザイン (若狭 あや)

去年度までとは仕事内容がガラッと変わり、電子ブック、電子ジャーナル、データベースと向き合う日々です。電子ジャーナルへのリンクがどのような仕組みで OPAC の検索結果に出ているのか、そもそもどのように電子リソースを管理しているのかなど、今まであまり深く考えたことのなかった多くのことを学んでいる最中です。なんとなくで知った気にならず、一歩立ち止まってしっかり考えるという癖をつけられるように努めたいと思います。色々と至らぬ点が多いかと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

わかさ あや (京都大学附属図書館)

● グループ報編集 / 「大学の図書館」編集 (鷺津 彩乃)

私事ですが、夏に入ると同時に育児休業が終わり、職場復帰と部署異動をしました。家事育児と、1年ちょっとのブランクや新しい部署の仕事で慌ただしい毎日ですが、CAT2020 やオープンサイエンスが育休前に比べてより近づいてきているのを現場で感じて少しずつ情報収集などもして充実しています。

本年度も担当させていただくグループ報や「大学の図書館」の編集では、様々なトピックの情報を提供できるよう務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

わしづ あやの (名古屋大学附属図書館)

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行し、4年目となりますが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしくお願いいたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019
■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキューウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。